

I-O DATA

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

ライブストリーミングボックス

LIVE ARISER

取扱説明書

GV-LSBOX

MANU000496

レシート・納品書などは大切に保存してください。修理の際には、購入日を証明するものがが必要です。

もくじ

もくじ	2	設定一覧	31
ご使用の前に	3	録画設定	32
本製品の使用目的	4	静止画設定	33
詳細ガイドの開き方 (Web で閲覧)	4	配信設定	34
添付品を確認する	5	画面表示設定	36
各部の名前と機能	5	ネットワーク設定	37
安全のために	7	一般設定	38
使用上のご注意	10	スマホ・タブレットで設定画面を操作する方法	39
準備する	11	困ったときには	41
接続する	12	困ったときには	42
ライブ配信の設定をする	15	アフターサービス	43
基本的な使い方	21	アフターサービス	44
メイン画面の機能	22	ハードウェア保証規定	46
ライブ配信する	23		
録画する	24		
静止画を保存する	25		
画面表示モードを切り替える	26		
USB ストレージの画像・動画を表示する	28		
画面をクロップする (切り抜く)	30		

ご使用前に

本製品を使用される前にご確認いただきたい情報です。
ご使用の際は、必ず「安全のために」と「使用上のご注意」
の内容にしたがってください。

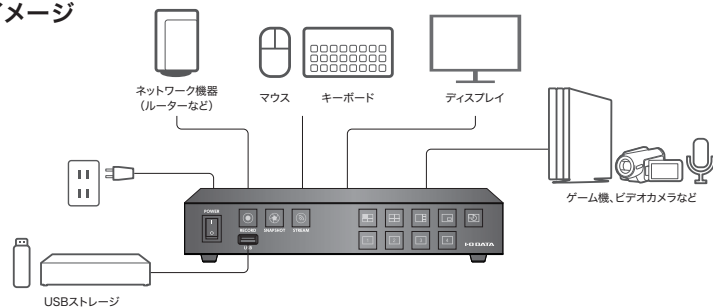
本製品の使用目的	4
詳細ガイドの開き方 (Web で閲覧)	4
添付品を確認する	5
各部の名前と機能	5
安全のために.....	7
使用上のご注意	10

本製品の使用目的

本製品は、ゲーム機やビデオカメラをつないで、ライブ配信をするデバイスです。主に以下のことがおこなえます。

- HDMI入力を4つ搭載し、画面の切り替えやPinP(ピクチャーインピクチャー)を本製品のボタンで操作できます。
- 本製品に直接マウスとキーボードをつないで設定や操作ができるので、パソコンを使わずにライブ配信を楽しめます。
- 外付けハードディスク等のUSBストレージをつなぐことで、映像を録画したり配信に画像や動画を挿入することができます。

● 接続イメージ



詳細ガイドの開き方 (Webで閲覧)

詳細ガイドでは、本製品の詳細な設定方法やQ&Aなどを説明しています。併せてご覧ください。

<https://www.iodata.jp/p/227253>

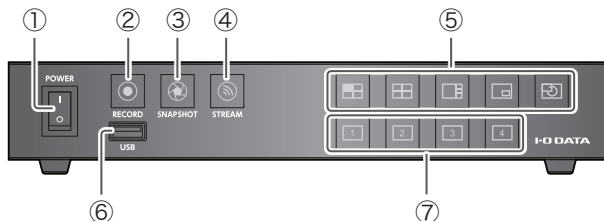


添付品を確認する

- AC アダプター、電源コード 1 個 (AC アダプターと電源コードをつないで使います)
取扱説明書 (本書) 1 冊

各部の名前と機能

前面



① 電源スイッチ

本製品の電源をオン / オフします。

② 録画ボタン

プレビュー中の映像を録画 / 録画停止します。録画中はボタンが点灯します。

③ 静止画ボタン

プレビュー中の映像を静止画で保存します。

④ 配信ボタン

プレビュー中の映像をライブ配信 / 配信停止します。ライブ配信中はボタンが点灯します。

⑤ 画面表示切替ボタン

画面の表示方法を切り替えます。

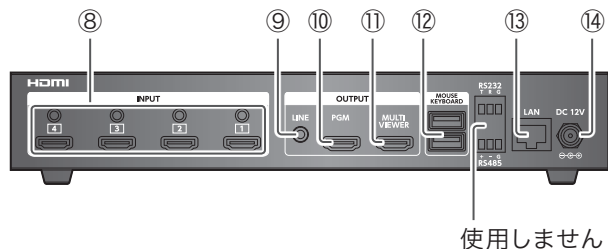
⑥ USB 3.1 Gen 1(USB 3.0) Standard A コネクター

外付けハードディスクなどの USB ストレージをつなぎます。USB ストレージをつなぐと映像の録画や静止画の保存、配信に画像や動画を挿入するなどのことができるようになります。

⑦ 映像入力切替ボタン

1 画面モード：表示する入力を選びます。
子画面モード：主画面と副画面を選びます。
1:3 分割モード：主画面を選びます。

背面



⑧ HDMI 入力コネクタ + 音声入力コネクタ (ライン)

HDMI 入力コネクタにゲーム機やビデオカメラなどをつなぎます。1 から 4 まで 4 つの映像 / 音声を入力することができます。外部音声も入力する場合は、それぞれの HDMI 入力コネクタの上にある音声入力コネクタ (ライン) に、外部オーディオ機器をつなぎます。

⑨ 音声出力端子 (ライン)

ヘッドホンなどをつなぎます。プレビュー中の映像の音声が出力されます。

⑩ HDMI 出力端子 (PGM)

ディスプレイをつなぎます。配信中と同じ画面 (視聴者が見る画面) が表示されます。

⑪ HDMI 出力端子 (MULTI VIEWER)

ディスプレイをつなぎます。本製品のメイン画面が表示されます。

⑫ USB 2.0 Standard A コネクタ

マウスとキーボードをつなぎます。

⑬ LAN ポート

ルーターなどのネットワーク機器を LAN ケーブルでつなぎます。



⑭ 電源コネクタ

添付の AC アダプターをつなぎます。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。




▼ 警告および注意表示


 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

 禁止
 指示を守る

警告

-  **本製品を修理・改造・分解しない**
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。
-  **本製品の小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない**
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。
-  **雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない**
感電の原因になります。

-  **ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所では使わない**
水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかかる、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
 - ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
 - ・水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上に乗らないでください。
 - ・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。



本製品の取り付け、取り外し、移動は、本製品の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてからおこなう

電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。



煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまま使うと発火・感電の原因になります。



本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

発火の原因になります。



故障や異常のまま、つながない

本製品に故障や異常がある場合や内部に異物が入った場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。

そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

電源 (AC アダプター・コード・プラグ) について



電源コードやACアダプターは、添付品または指定品のもの以外を使わない

電源コードから発煙したり、発火の原因になります。



AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながない

発火、発熱のおそれがあります。



電源コードやACアダプターにもものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない

電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。



ゆるいコンセントにつながない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。



添付の電源コードやACアダプターは他の機器につながない

発火や閃電の原因になります。添付の電源コードやACアダプターは本製品専用です。



コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)

トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。



じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

発火の原因になります。



熱器具のそばに配線しない

電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。



テーブルタップを使用するときは定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。



注意



本製品を踏まない

破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。



長時間にわたり一定の場所に触れ続けない

本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。

長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起す恐れがあります。



本製品にヘッドホンをつなぐ場合、音量調節機能(AVアンプなど)を挿入して接続する

本製品の音声出力端子はラインレベルのため、ヘッドホンに直接つなぐと大きな音が出て、耳に悪影響が出る恐れがあります。

電源 (AC アダプター・コード・プラグ) について



人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

■ 最新ソフトウェアでのご利用のお願い

- ・本製品のハードウェア保証適用のため、ソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。

■ 録画・配信について

- ・必ず事前に試し録画(配信)をして、正常に録画(配信)されることを確認してください。
- ・本製品を使用中、万一これらの故障や不具合により録画(配信)できなかった場合の保証については、ご容赦ください。
- ・本製品の動作中に停電などが発生すると、録画した内容が消去される場合があります。
- ・4K解像度の録画・配信には対応しておりません。
- ・DVD/BDやデジタル放送などHDCPで保護された著作権保護映像は、録画・配信できません。本製品を使用して録画した映像を著作権者の許諾を得ずに、個人の鑑賞以外の目的で複製、配布、配信する事は、著作権法により禁止されております。

■ 大切なデータを守るために映像の記録について

- ・録画したデータは別のメディア(外付けハードディスク、DVD)などへバックアップすることをおすすめします。
- ・動作中にケーブルを抜いたり、激しく動かしたりしないでください。本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの補償は一切いたしかねます。

■ お手入れ方法

- ・本製品について汚れなどを落とす場合は、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
- ・汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

■ 廃棄について

- ・本製品を廃棄、譲渡などするときは、本製品内に記録されている配信設定などのデータを初期化で削除することをおすすめします。削除しないまま廃棄、譲渡すると、記録されている情報が第3者に知られてしまう可能性があります。本製品の[設定]→[一般設定]→[初期化]で削除できます。([設定一覧]→【一般設定】(38ページ)を参照)
- ・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

準備する

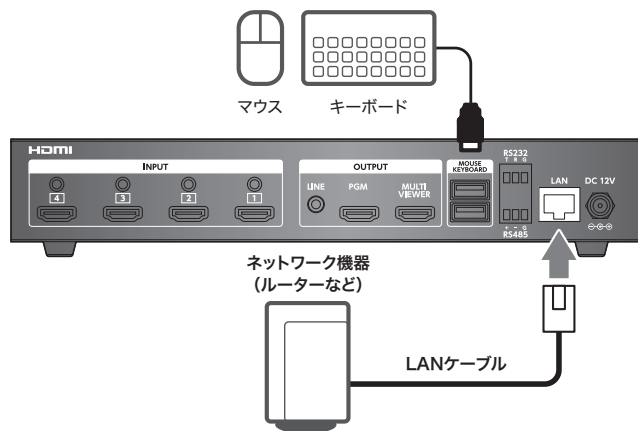
本製品の接続方法と、ライブ配信前に必要な設定について説明します。

接続する	12
ライブ配信の設定をする	15

接続する

1. ネットワーク機器、マウス・キーボードをつなぐ

- ① ルーターなどのネットワーク機器をLANケーブルでつなぎます。
- ② ライブ配信の設定をするため、マウスとキーボードをつなぎます。



ネットワークを個別で設定したいときは

【設定一覧】－【ネットワーク設定】(37ページ)を参照し、設定してください。

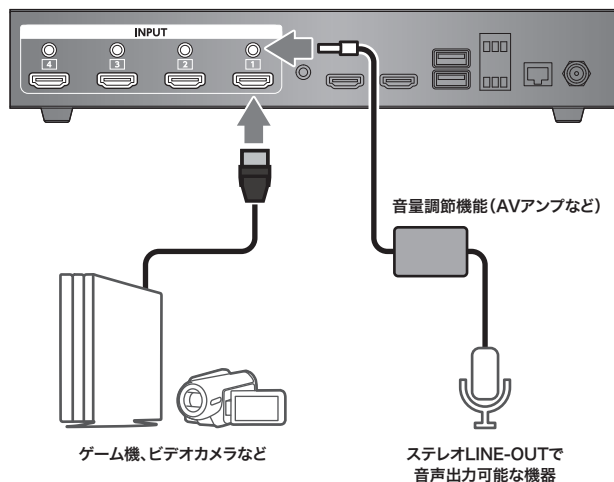
スマホ・タブレットからも設定画面を操作することができます
マウスやキーボードの代わりにスマートフォン・タブレットから設定画面を操作することができます。スマートフォン・タブレットは本製品と同じネットワークに接続してください。
詳しくは「スマホ・タブレットで設定画面を操作する方法」(39ページ)をご確認ください。

2. ゲーム機・ビデオカメラなどをつなぐ

[INPUT] にゲーム機やビデオカメラなどをつなぎます。

※マイクなどの音声も入力したい場合は、それぞれのHDMI入力コネクターの上にある音声入力コネクター（ライン）に、外部オーディオ機器をつなぎます。

※最大で4系統入力できます。



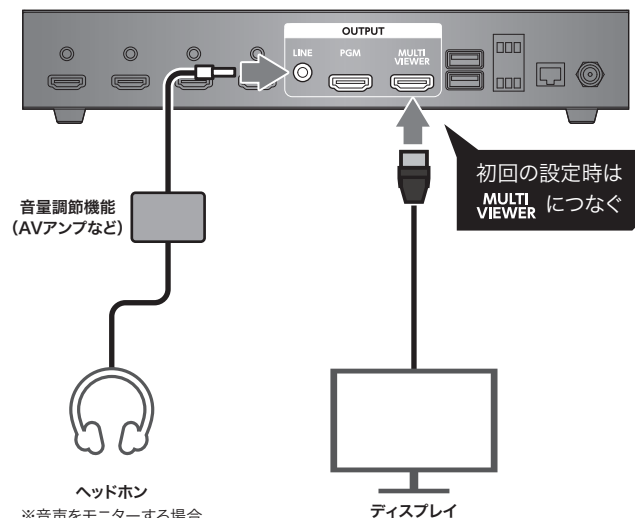
※音声を入力する場合に接続する。
※マイクを接続する場合は、別途マイクロフォンアンプが必要です。

3. ディスプレイをつなぐ

[OUTPUT] にディスプレイをつなぎます。

※初回のライブ配信設定時は、設定画面を表示するために [MULTI VIEWER] につないでください。

※音声をモニターしたい場合は、ヘッドホンをつなぎます。



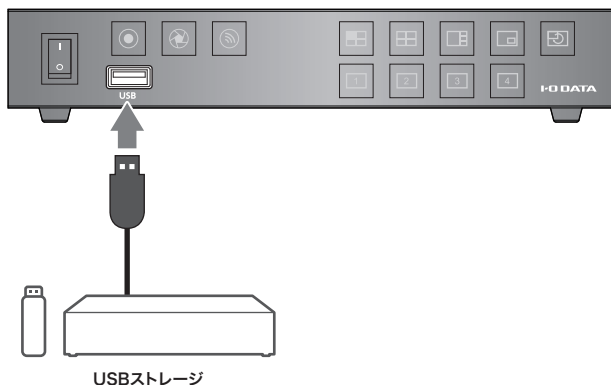
※音声をモニターする場合

[PGM] をつなぐときは

[PGM] につないだディスプレイには配信中と同じ画面（視聴者が見る画面）が表示されます。必要に応じてつないでください。

4. (必要に応じて) USB ストレージをつなぐ

必要に応じて外付けハードディスクなどのUSBストレージをつなぎます。USBストレージをつなぐと映像の録画や静止画の保存、配信に画像や動画を挿入するなどのことができますようになります。

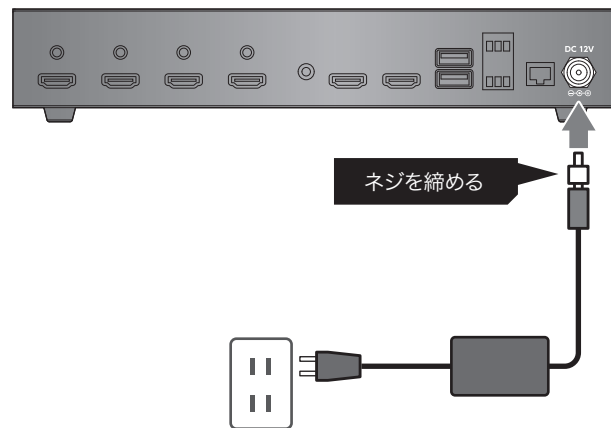


※取り外すときは、メイン画面の「USBストレージの取り外しボタン」をクリックして取り外してください。(22ページ)

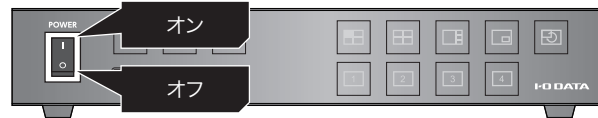
推奨の USB ストレージ

フォーマットはFAT32、NTFS、exFAT形式に対応しています。
※GPT形式には対応していません。下記ソフトウェアにてMBR形式に変換してご利用ください。⇒ I-O DATA ハードディスクフォーマット <https://www.iodata.jp/lib/product/i/2107.htm>
※ハードディスクはセルフパワー製品をご利用ください。
※最大容量は2TBまでです。

5.AC アダプターと電源コードをつなぐ



電源のオン / オフは前面のスイッチでおこないます



ライブ配信の設定をする

※ライブ配信機能は外部サービスを利用しているため、事前に告知なく使用できなくなる場合があります。

事前に、YouTube や Twitch などサービスの配信用アカウントをご用意ください

以下は例です。詳しい操作方法は、各サービスのヘルプをご覧ください。

▼YouTubeの場合

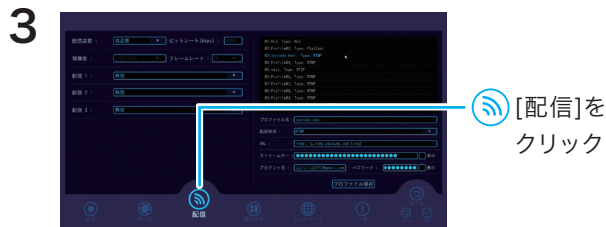
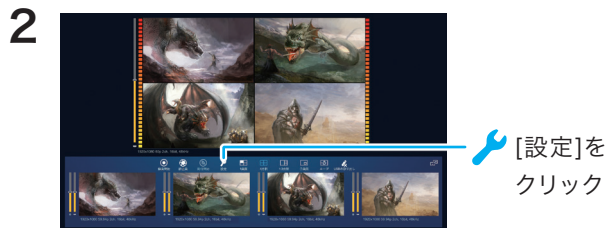
- 1.YouTubeにログインし、チャンネルを作成する
- 2.YouTubeの配信ツールでライブストリーミングを設定する
- 3.作成したチャンネルの [サーバーURL] と [ストリーム名/キー] をメモする

▼Twitchの場合

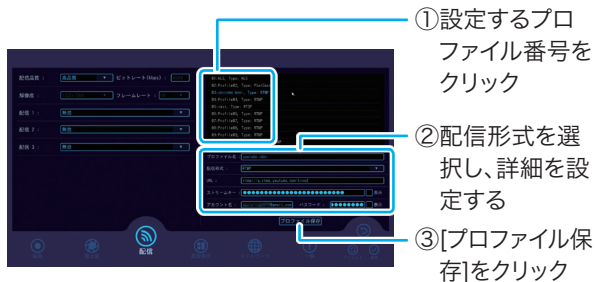
- 1.Twitchにログインし、チャンネルを作成する
- 2.Twitchのダッシュボードより、作成したチャンネルの [プライマリ配信キー] をメモする
※ [プライマリ配信キー] をストリームキーに入力します。
- 3.サーバーURLはTwitchホームページのIngestsを参照する

設定する

- 1 本製品の電源を入れる
⇒ディスプレイにメイン画面が表示されます。
※ディスプレイは [MULTI VIEWER] につないでください。



4



①設定するプロ
ファイル番号を
クリック

②配信形式を選
択し、詳細を設
定する

③[プロフィール保
存]をクリック

5



①入力したプロ
ファイルを選ぶ

②[適用]を
クリック

③[閉じる]を
クリック

以上で、設定は完了です。

各配信形式の詳細は右記からご覧ください。

RTMP 配信	16
RTSP 配信	17
PlatCast 配信	18
TS 配信	19
HLS 配信	20

RTMP 配信

一般的に、配信先サーバーの情報は以下の構成となります。

`rtmp://[配信するサービスのサーバーURL]/[ストリームキー]`

URL ※ 1、※ 2	配信するサービスのサーバー URL
ストリームキー ※ 2	配信するサービスのストリームキー
アカウント名 ※ 3	配信するサービスのアカウント名
パスワード ※ 3	配信するサービスのアカウントパスワード

※ 1 : rtmp:// もしくは rtmps:// から始まる URL を入力してください。

※ 2 : [URL] と [ストリームキー] は分けて入力します。

※ 3 : 配信先のセキュリティ設定により必要に応じて入力します。

RTSP 配信 ※1

プロフィール名: Profile02
配信形式: RTSP
ポート: 555 HTTP ポート: 8555 マルチキャスト設定: ユニキャスト
アカウント名: root パスワード: **** 表示
セッション名: rtsp://root:****@192.168.0.30:555/session0.mpg

ポート	配信に使用するポート番号
HTTP ポート	HTTP で使用するポート番号
アカウント名※2	ストリームにアクセスする際のアカウント名
パスワード※3	ストリームにアクセスする際のパスワード
セッション名※4	ストリームにアクセスする際のセッション名

- ※1：配信を視聴する端末（受信側）を本製品と同じネットワークに接続してください。
- ※2：任意のアカウント名を設定します。半角英数字 256 桁以内で入力してください。
- ※3：任意のパスワードを設定します。半角英数字 256 桁以内で入力してください。
- ※4：セッション名は以下の構成で自動生成されます。
rtsp://[アカウント名]:[パスワード]@[本製品 IP アドレス]:[ポート番号]/session0.mpg

視聴用 QR コードの作成方法

RTSP配信の設定を保存し、本製品にUSBストレージをつなぐと、視聴用URLのQRコード画像を作成することができます。告知などの用途にご利用ください。

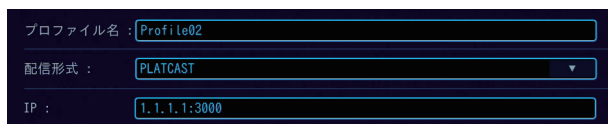
▼QRコード画像の保存場所とファイル名

[USBストレージのドライブ名]:¥GVLSBOX¥QRcodeフォルダー内
[プロファイル名]_[プロファイル番号]_[設定日時].jpgファイル

PlatCast 配信

PlatCastはインターネットを利用した音声配信サービスです。事前にお申し込みが必要です。サービスについて詳しくは下記をご覧ください。

<https://www.iodata.jp/ssp/service/platcast/>



The image shows a configuration window for PlatCast with three input fields:

- プロフィール名: Profile02
- 配信形式: PLATCAST (selected from a dropdown menu)
- IP: 1.1.1.1:3000

IP	PlatCast をお申込みしたあとに案内される IP アドレスとポート番号を入力してください。 [IP アドレス] : [ポート番号] 画面例) “1.1.1.1” が IP アドレス、“3000” がポート番号
----	---

TS 配信

プロファイル名: Profile02
配信形式: TS
URL: udp://111.111.111.111:9001

URL	配信先とポート番号のアドレス
-----	----------------

設定例) ユニキャストで配信する場合

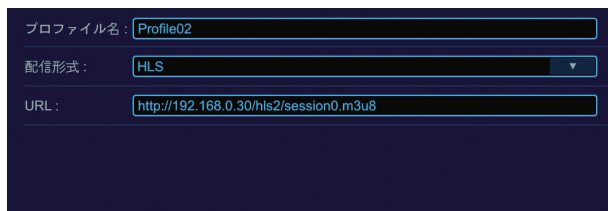
配信先が 192.168.2.6 の場合 **udp://192.168.2.6:49152**

設定例) マルチキャストで配信する場合

udp://224.0.1.1:65534

※アドレスやポートは使用する環境で重複しないように設定してください。

HLS 配信



プロファイル名: Profile02

配信形式: HLS

URL: http://192.168.0.30/hls2/session0.m3u8

URL ※1、※2	ライブ配信を開始すると、視聴用 URL が表示されます
-----------	-----------------------------

例) 本製品の IP アドレスが 192.168.0.30 の場合
http://192.168.0.30/hls2/session0.m3u8

- ※1: HLS 対応のブラウザまたはプレイヤーでアクセスしてください。
- ※2: INPUT につないでいるゲーム機やビデオカメラなどの機器を本製品と同じネットワークに接続してください。

視聴用 QR コードの作成方法

HLS 配信の設定を保存し、本製品に USB ストレージをつなぐと、視聴用 URL の QR コード画像を作成することができます。告知などの用途にご利用ください。

▼QRコード画像の保存場所とファイル名

[USB ストレージのドライブ名] : ¥GVLSBOX¥QRcode フォルダ内
[プロファイル名] _ [プロファイル番号] _ [設定日時] .jpg ファイル

基本的な使い方

ライブ配信、録画、静止画を保存するなど、本製品の基本的な使い方を説明します。

※画面は [MULTI VIEWER] につないだディスプレイに表示されます。

メイン画面の機能	22
ライブ配信する	23
録画する	24
静止画を保存する	25
画面表示モードを切り替える	26
USB ストレージの画像・動画を表示する	28
画面をクロップする（切り抜く）	30

ご注意：著作権保護映像は配信 / 録画 / 表示できません

本製品は著作権保護映像（地上デジタル放送、BS/CS 放送、市販ビデオディスクなど）を配信 / 録画 / 表示することはできません。
著作権保護信号（コピーガード信号）を検出すると配信や録画を停止します。

メイン画面の機能

※ [MULTI VIEWER] につないだディスプレイに表示されます。

音声出力のレベルを表示

音声出力の音量を調整
プレビュー画面を表示しているディスプレイの音量を調整します。

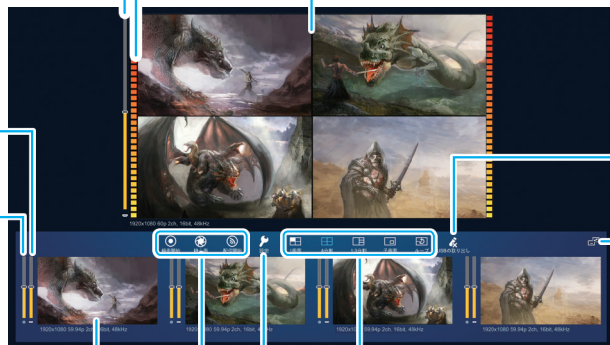
HDMI の入力音量を調節

アナログ入力音量を調節

HDMI 入力のプレビュー画面
左の画面から、入力1→2→3→4の順に表示されます。



プレビュー画面



USB ストレージの取り外し

全画面表示

画面表示モードの切り替え

設定画面を表示

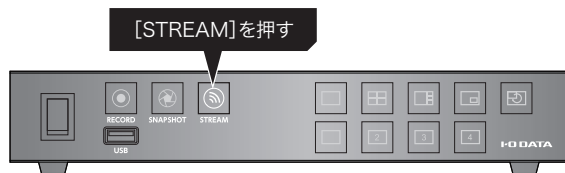
録画、静止画保存、配信の操作

USB ストレージの取り外し方法

USB ストレージを接続している場合は、本製品の電源を切る前に [USB ストレージの取り外し] をクリックしてから、本製品を取り外してください。

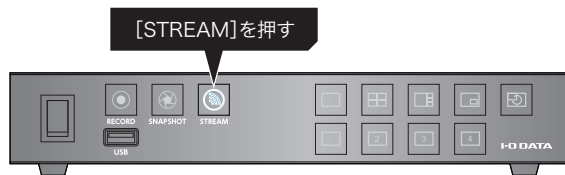
ライブ配信する

1

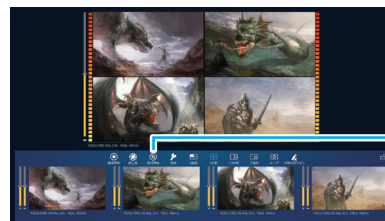


⇒ライブ配信が始まります。

2 配信が終わったら



画面で操作する場合



YouTube Studio を利用して配信する場合

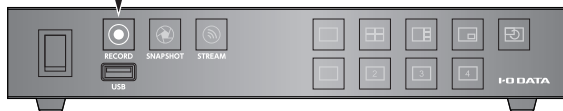
以下の操作もおこなってください。

- 左記手順1のあとに、YouTube StudioのWebページで「ライブ配信を開始」する
- 左記手順2のあとに、YouTube StudioのWebページで「ライブ配信を終了」する

録画する

1

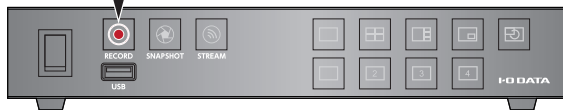
[RECORD]を押す



⇒録画が始まります。

2 録画が終わったら

[RECORD]を押す



※入力信号がなくなっても、録画は自動で停止されません。

ファイルの保存場所

[USBストレージのドライブ名] ¥GVLSBOX¥Recordフォルダー内にある各フォルダーに保存されます。

※ファイル命名規則により、保存されるフォルダーが異なります。

詳しくは「録画設定」(32 ページ)をご覧ください。

画面で操作する場合



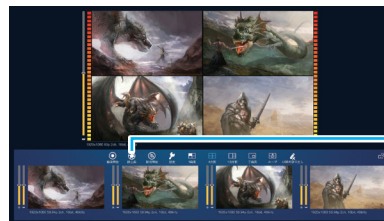
[録画開始]をクリック

静止画を保存する



⇒静止画が保存されます。

画面で操作する場合



[静止画]を
クリック

ファイルの保存場所

[USBストレージのドライブ名] ¥GVLSBOX¥Recordフォルダー内にある各フォルダーに保存されます。

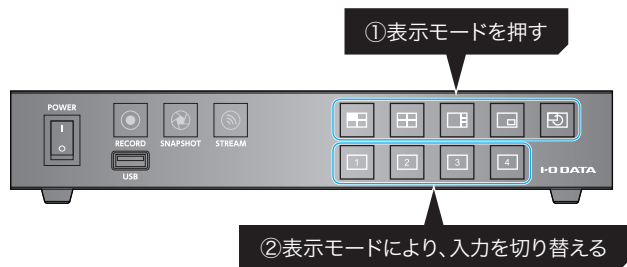
※ファイル命名規則により、保存されるフォルダーが異なります。

詳しくは「静止画設定」(33 ページ) をご覧ください。

画面表示モードを切り替える

ライブ配信、録画、静止画を保存するとき、画面の表示方法を切り替えられます。

切り替える



画面で操作する場合




各表示モードの説明

● 1画面モード

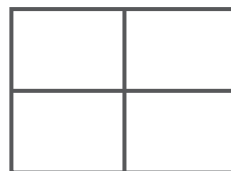
選択した映像をフルスクリーンで表示します。




- ①  を押す (クリック)
- ② 表示する映像を押す (クリック)

● 4分割モード

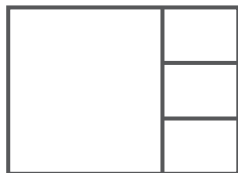
入力された映像を4分割ですべて表示します。




- ・  を押す (クリック)

● 1:3 分割モード

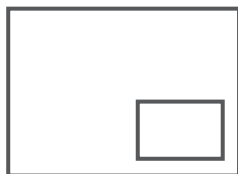
選択した映像を大きく、それ以外を小さく表示します。





- ①  を押す (クリック)
- ② 大きく表示する映像を押す (クリック)

● 子画面モード


選択した 2 つの映像を PinP(ピクチャーインピクチャー)で表示します。



<本体で操作する場合>

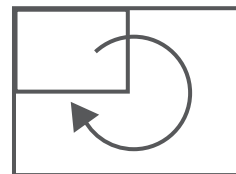
- ①  を押す
映像入力切替ボタンが点灯します(親画面が青、子画面が緑)
- ②映像入力切替ボタンを押して、表示する映像を切り替える
※青と緑は、 を押すと切り替えできます。


<画面で操作する場合>

- ①  をクリック
親画面が青、子画面が緑で表示されます
- ②親画面を左クリック、子画面を右クリックで切り替える

● ループモード

入力を検知したチャンネルを、自動的にループで切り替えて表示します。



- ・  を押す (クリック)

USBストレージの画像・動画を表示する

USBストレージに保存してある画像・動画を、映像ソースとして表示することができます。

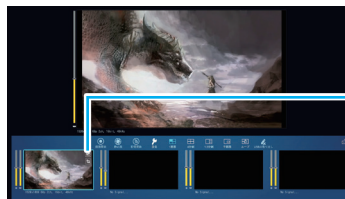
表示できる画像・動画のファイル形式は以下になります。

動画	本製品で録画した MP4/TS/MOV ファイル 最大フレームレート：30fps
静止画	解像度が 1920 × 1080 または 1280 × 720 の BMP/JPEG ファイル

※ USB ストレージの画像・動画を表示中は USB ストレージを取り外さないでください。取り外す場合は、画像・動画を削除してから取り外してください。

画像を表示する

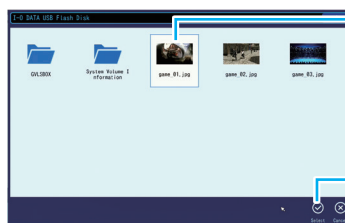
1



 をクリック

※マウスを合わせるとアイコンが表示されます。

2



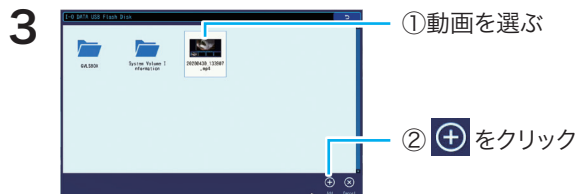
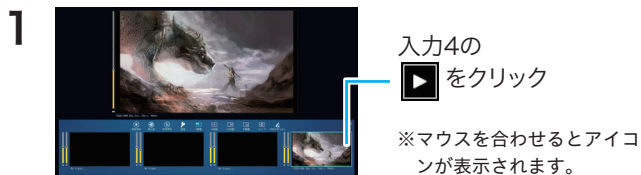
①画像を選ぶ

②  をクリック

⇒画像が表示されます

動画を表示する

動画は入力4にのみ表示できます。

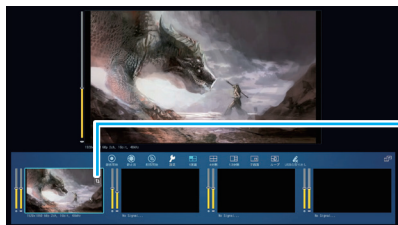


⇒動画が表示されます

画面をクロップする(切り抜く)

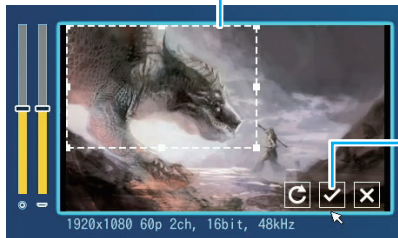
画面を切り抜いて必要な部分を拡大表示することができます。

- 1 ①映像ソースの上にマウスカursorを合わせる





- ②  をクリック

- 2 ①白枠をドラッグして表示する範囲を調整する

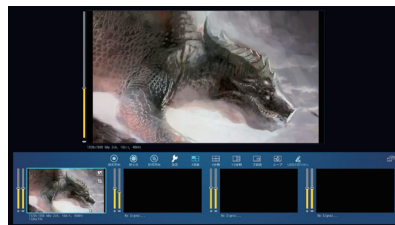


- ②  をクリック

 : 切り抜き前に戻す

 : 作業をキャンセルする

⇒切り抜いた部分が拡大して表示されます



※縦横比は自動で16:9になって表示されます。
※アスペクト比は維持されません。

設定一覧

本製品の設定について説明します。

録画設定	32
静止画設定	33
配信設定	34
画面表示設定	36
ネットワーク設定	37
一般設定	38
スマホ・タブレットで設定画面を操作する方法 ...	39

設定画面の開き方



[設定] を
クリック

※ [MULTI VIEWER] につないだディスプレイで操作します。

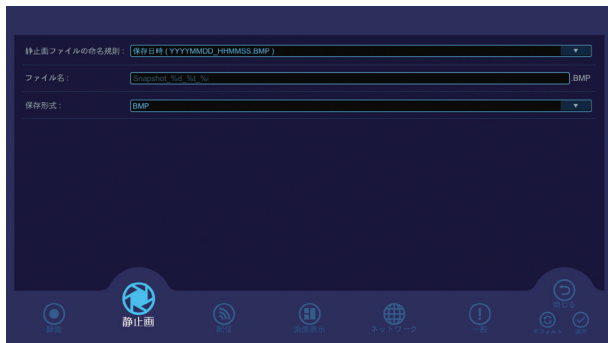
録画設定



録画品質	録画時の品質を設定します。 [標準品質 / 高品質 / 最高品質 / カスタム] 初期値：高品質
ビットレート (kbps)	[録画品質] で [カスタム] を選んだ際にビットレートを設定します。初期値：1600
録画ファイルの命名規則	録画ファイルの命名規則を設定します。 [録画日時 (YYYYMMDD_HHMMSS.MP4) / 連番 (0001.MP4, 0002.MP4, 0003.MP4...) / カスタム] 初期値：録画日時
ファイル名	録画ファイルの命名規則を [カスタム] に設定した際のファイル名を設定します。 初期値：Record_%d_%t_%i.MP4 (%d は YYYYMMDD、%t は HHMMSS、%i は数字です)

ファイル形式	録画時のファイル形式を設定します。 [MP4 / TS / MOV] 初期値：MP4
連続録画時間	連続で録画する時間を設定します。 録画を停止するまで、設定した間隔の録画ファイルを保存し続けます。[60 / 30 / 5 / 1] 初期値：60 例：設定値 [30] の場合、30分の録画ファイルを録画停止まで保存し続けます。 ※連続録画時間：最大 60分
マルチソース録画	PGM 出力映像以外に HDMI のそのままの映像 / 音声を録画するか設定します。入力 1～4 より、最大 2 チャンネルまで設定できます。 初期値：オフ
録画停止タイマー	録画を自動停止する機能のオン / オフと、オンにしたときの録画を自動停止するまでの時間 (最大 1 時間 00 分 00 秒) を設定します。 初期値：オフ
USB ストレージ	USB ストレージの認識状態を表示します。
フォーマット形式	USB ストレージのフォーマット実行時の形式を設定します。[FAT32 / NTFS / exFAT] 初期値：FAT32
フォーマット	USB ストレージのフォーマットを実行します。

静止画設定



静止画ファイルの命名規則	静止画ファイルの命名規則を設定します。 [保存日時 (YYYYMMDD_HHMMSS.BMP) / 連番 (0001.BMP, 0002.BMP, 0003.BMP...) / カスタム] 初期値：保存日時
ファイル名	静止画ファイルの命名規則を [カスタム] に設定した際のファイル名を設定します。 初期値：Record_%d_%t_%i.BMP (%d は YYYYMMDD、%t は HHMMSS、%i は数字です)
保存形式	静止画保存時のファイル形式を設定します。 [BMP / JPEG] 初期値：BMP

配信設定

[配信形式] によって表示される項目が異なります。



配信品質	配信時の品質を設定します。[標準品質 / 高品質 / 最高品質 / カスタム] 初期値：高品質 カスタムを選ぶと、ビットレート・解像度・フレームレートを設定できます。
ビットレート (kbps)	[配信品質] で [カスタム] を選んだ際にビットレートを設定します。初期値：3000
解像度	[配信品質] で [カスタム] を選んだ際に解像度を設定します。 [1920 × 1080/1280 × 720] 初期値：1920 × 1080
フレームレート	フレームレートを設定します。[60/30] 初期値：60

配信 1 ~ 3	配信時に使用するプロファイルを設定します。 [無効 / Profile01 / … / Profile10] 初期値：すべて無効
プロファイルリスト	保存したプロファイルを一覧表示します。 最大 10 個のプロファイルを保存できます。
プロファイル名	プロファイル名を設定します。 ※プロファイル名は本製品内の名前です。配信先の設定には影響ありません。 初期値：ProfileXX(XX は 01 ~ 10)
配信形式	配信形式を設定します。[RTMP / RTSP / TS / HLS / PLATCAST] 初期値：RTMP
URL	配信 URL を設定します。 ※ RTMP、TS、HLS 時に表示されます。
ストリームキー	配信ストリームキーを設定します。 ※ RTMP 時に表示されます。
ポート	配信時のポートを設定します。 初期値：555 ※ RTSP 時に表示されます。
HTTP ポート	配信時の HTTP ポートを設定します。 初期値：8555 ※ RTSP 時に表示されます。

マルチキャスト設定	ユニキャスト / マルチキャストを設定できます。 初期値：ユニキャスト ※ RTSP 時に表示されます。
アカウント名	配信のアカウント名を設定します。 ※ RTMP、RTSP 時に表示されます。
パスワード	配信のパスワードを設定します。 ※ RTMP、RTSP 時に表示されます。
セッション名	配信時のセッション名を設定します。 ※ RTSP 時に表示されます。
IP	PlatCast をお申込みしたあとに案内される IP アドレスとポート番号を入力してください。 [IP アドレス] : [ポート番号]
プロフィール保存	プロフィールを保存します。

画面表示設定

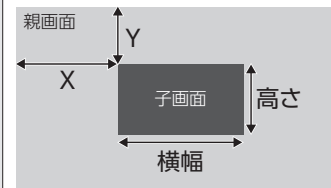


出力フレームレート	HDMI 出力のフレームレートを設定します。 [25 / 30 / 50 / 60] 初期値：60
切り替え効果	切り替え効果を設定します。 [無効 / フェード / カバー] 初期値：無効 秒数は切り替えにかかる時間を設定します。
背景の色	背景の色 (R / G / B) を設定します。背景色をクリックして表示されるカラーピッカーから選ぶこともできます。 [赤 (R) : 0 ~ 255、緑 (G) : 0 ~ 255、青 (B) : 0 ~ 255] 初期値：0 / 0 / 0
1:3 分割設定	画面の表示を調整します。[フル / ノーマル / ズーム] 初期値：フル 1:3 分割表示時のメイン画面の横幅を設定します。[160 ~ 1760] 初期値：1400

子画面設定

子画面表示時の子画面の表示位置を設定します。

X : 横 初期値：1,200
Y : 縦 初期値：640
横幅：横幅 初期値：640 最小値：160
高さ：高さ 初期値：360 最小値：120



※親画面のサイズは 1920 × 1080 です。

ループ設定

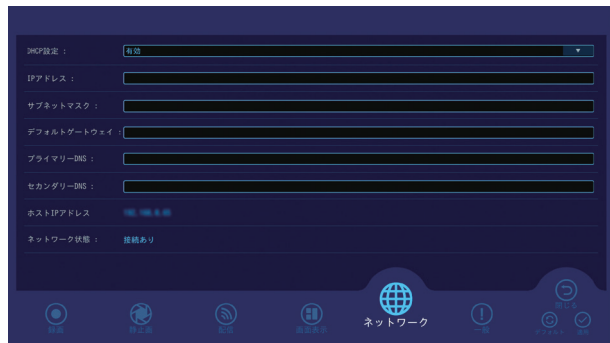
ループ表示時の画面を切り替える間隔を設定します。[1 ~ 9999]
初期値：5 秒

■子画面位置のおすすめ設定例

左上：X80 Y80
右上：X1200 Y80
左下：X80 Y640
右下：X1200 Y640(初期値)
※横幅 640 高さ 360



ネットワーク設定



プライマリー DNS	DHCP 無効設定時に本製品のイーサネットのプライマリー DNS を設定します。
セカンダリー DNS	DHCP 無効設定時に本製品のイーサネットのセカンダリー DNS を設定します。
ホスト IP アドレス	本製品のイーサネットの IP アドレスを表示します。
ネットワーク 状態	本製品のイーサネットのネットワーク状態を表示します。

DHCP 設定	本製品のイーサネットの IP アドレスの割り当てに DHCP を使用するかを設定します。 [有効 / 無効] 初期値：有効
IP アドレス	DHCP 無効設定時に本製品のイーサネットの IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	DHCP 無効設定時に本製品のイーサネットのサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	DHCP 無効設定時に本製品のイーサネットのデフォルトゲートウェイを設定します。

一般設定



時刻設定	本製品の時刻を設定します。 [インターネットから自動的に設定する / 手動設定] 初期値：インターネットから自動的に取得する
NTPサーバー	時刻をインターネットから自動取得設定時にNTPサーバーを設定します。 初期値：jp.pool.ntp.org ※ [インターネットから自動的に取得する] 時に表示されます。
日時※1	時刻を手動設定時に日時、時刻を設定します。 ※ [手動設定] 時に表示されます。
現在時刻※1	現在の時刻を表示します。

ファームウェアの更新※1	ファームウェアの更新に使用するファイルを指定します。 ※ファームウェアの更新をするには、USBストレージとパソコンが必要です。更新方法について詳しくは弊社ホームページをご覧ください。 https://www.iodata.jp/r/6459
更新※1	ファームウェアの更新を実行します。
言語	画面に表示される言語を設定します。 [日本語 / English] 初期値：日本語
初期化※1	本製品の全設定を初期状態に戻します。
新しいアカウント※2、3	スマホ・タブレットで設定画面を開く際のユーザー名を変更する場合は、ここに新しいユーザー名を入力して適用してください。
新しいパスワード※2、3	スマホ・タブレットで設定画面を開く際のパスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを入力して適用してください。
再起動	本製品の再起動を実行します。
現在のバージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。

※1：スマホ・タブレットの設定画面には表示されない項目です。
 ※2：スマホ・タブレットの設定画面にのみ表示される項目です。
 ※3：忘れた場合は初期化をおこなってください。その場合、すべての設定が初期状態に戻ります。

スマホ・タブレットで設定画面を操作する方法

スマートフォン・タブレットでは本製品の設定操作が可能です。（配信画面の表示はおこなえません）


- ※スマートフォンまたはタブレットを一台用意してください。複数台の端末から同時につなぐことはできません。
- ※事前に本製品の IP アドレス（ホスト IP アドレス）を確認しておいてください。その際は MULTI VIEWER にディスプレイをつないで確認します。（「ネットワーク設定」（37 ページ）参照）
- ※配信中や録画中は設定を変更しないでください。

設定画面を開く

- 1 スマートフォン・タブレットは本製品と同じネットワークに接続してください。
- 2 スマートフォン・タブレットで、Webブラウザを開く
※ Safari または Google Chrome をお使いください。
- 3 [http://\[本製品のIPアドレス\]](http://[本製品のIPアドレス]) にアクセスする
※本製品の IP アドレス（ホスト IP アドレス）が“192.168.2.3”の場合は、<http://192.168.2.3> にアクセスする

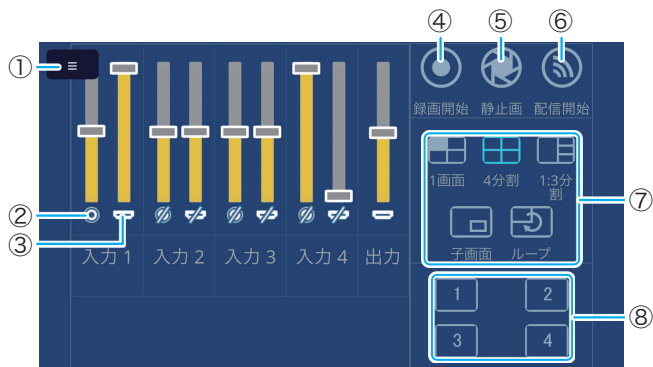
- 4 ログイン画面が表示されるので、以下を入力する
【初期ユーザー名】 admin
【パスワード】 0000（ゼロが4つ）

ログイン用ユーザー名（アカウント）とパスワードの変更方法
ログイン用のユーザー名（アカウント）とパスワードはセキュリティ向上のため初期値から変更してください。

- ① 「スマホ・タブレットで設定画面を操作する方法」（39 ページ）の手順で設定画面を開く
- ②  から [一般] を開く
- ③ [新しいアカウント] と [新しいパスワード] を入力し、[適用] を押す

※新しいアカウントとパスワードは忘れないようご注意ください。忘れた場合は本製品を初期化してください。

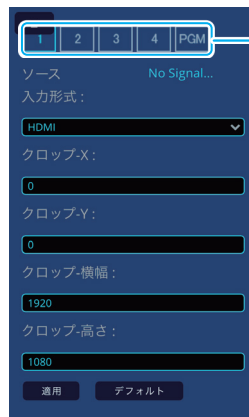
画面の概要



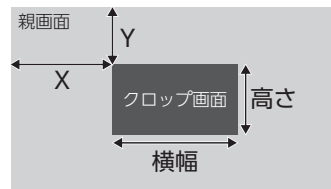
①	プレビュー	上記画面を表示します。
	ソース	入力形式を HDMI または画像から選択して切り替えることができます。(右記参照)
	録画～一般	設定画面を表示します。(32 ページ～ 38 ページ参照)
②	アナログ入力音量を調節します。	
③	HDMI の入力音量を調節します。	
④	映像を録画開始 / 録画停止します。	
⑤	映像を静止画で保存します。	
⑥	ライブ配信を開始 / 停止します。	
⑦	画面表示モードの切り替えをします。	
⑧	HDMI 入力画面の表示切り替えをします。	

ソース

入力形式の選択と、表示位置の設定がおこなえます。



設定する画面を選択



入力形式	画像を選択すると、USB ストレージに保存してある画像を映像ソースとして表示することができます。 対応ファイル形式 [BMP/JPEG]
ファイルの場所	入力形式を [画像] にした際、画像ファイルを選択します。
クロップ -X	表示位置の X 軸を設定します。
クロップ -Y	表示位置の Y 軸を設定します。
クロップ - 横幅	表示する画像サイズの横幅を設定します。
クロップ - 高さ	表示する画像サイズの高さを設定します。

困ったときには

よくあるトラブルについて説明します。

困ったときには 42

詳細ガイド (Web で閲覧) も併せてご覧ください

詳細ガイドでは、本製品の詳細な設定方法や Q&A などを説明しています。併せてご覧ください。



<https://www.iodata.jp/p/227253>

困ったときには

ゲーム機やビデオカメラの映像が表示されない

- ・ゲーム機の出力端子が、本製品の[INPUT] に接続されているかご確認ください。
- ・ゲーム機の電源が入っているかご確認ください。
- ・ゲーム機をテレビに直接つないで、映像が映るかご確認ください。
- ・ゲーム機の設定で、著作権保護(HDCP)が「無効」(オフ)になっていることをご確認ください。
- ・著作権保護された映像は表示できません。

ゲーム機の音声がきこえない

- ・消音になっていないかご確認ください。
- ・ゲーム機の音声出力設定が正しいかご確認ください。

マイクの音声が入力されない

- ・マイク用のアンプを接続して、ラインレベルでお使いください。

配信の際に、画像や音声が乱れる

< RTMP 配信の場合 >

- ・配信設定で、配信時の品質を下げてご確認ください。
- ・ご利用のネットワーク帯域の増強をお試しください。

< RTMP 配信以外の場合 >

- ・配信を視聴する端末の接続台数を少なくして、ご確認ください。
- ・配信設定で、配信時の品質を下げてご確認ください。
- ・ご利用のネットワーク帯域の増強をお試しください。

配信がうまくいかない、接続が切れる

- ・配信サービスのビットレート制限や推奨配信解像度をご確認ください。
- ・通信状況が安定しているかご確認ください。
- ・本製品のファームウェアのバージョンが最新かご確認ください。

配信が開始されない

- ・配信サービスのストリームキーが変更になっていないかご確認ください。
- ・YouTube Studioを利用して配信する場合、YouTube Studioで「ライブ配信を開始」する必要があります。

動画挿入ができない

- ・USBストレージの読み込みに時間がかかっている可能性があります。USBストレージ内のファイル数を減らしてお試しください。

ヘッドホンなど音声出力端子につないだ機器から聞こえる音が大きい

- ・音声出力端子はラインレベルです。ヘッドホンを直接つなぐと大きな音が出て、耳に悪影響が出る恐れがあります。別途、音量調節機能(AVアンプなど)を挿入して接続してください。

アフターサービス

アフターサービスについて説明します。
また、保証内容を「ハードウェア保証規定」に記載しています。

アフターサービス	44
ハードウェア保証規定	46

アフターサービス

重要

- ・本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- ・個人情報情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

お問い合わせいただく前に以下をご確認ください



- ①「商品Q&A」を参照
- ②最新のソフトウェアをダウンロード



<https://www.iodata.jp/lib/>

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ



050-3116-3018

受付 9:00~17:00 月~金曜日

(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。



<https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/capture>

保証期間 1年間

修理を依頼する方法

以下を梱包し修理センターへお送りください



- 本製品
- レシート、納品書など購入日を示すもの
- 修理依頼書(下記URLで印刷)

※名前・住所・TEL・FAX・E-Mail・症状を書いたメモでも可



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター宛

※嚴重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

<https://www.iodata.jp/support/after/repair/>

※事前連絡は不要です。

※修理の流れ、費用や納期の目安などもこちらでご確認いただけます。

なお、有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。(見積無料)

※修理依頼書はここから印刷できます。



【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。

【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元に控えてください。

【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。

【液晶ディスプレイ】パネル部分を持つと、パネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。

【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料で修理または交換をお約束するものです。

1. 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より1年間、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2. 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3. 保証対象外

以下の場合には保証の対象とはなりません。

- 1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 中古品でご購入された場合
- 3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4. 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5. 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6. 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

Our company provides the service under this warranty only in Japan.

[ユーザー登録はこちら] … <https://ioportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしておいてください。

シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。(例 : ABC1234567ZX)

[ご注意]

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
- 6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

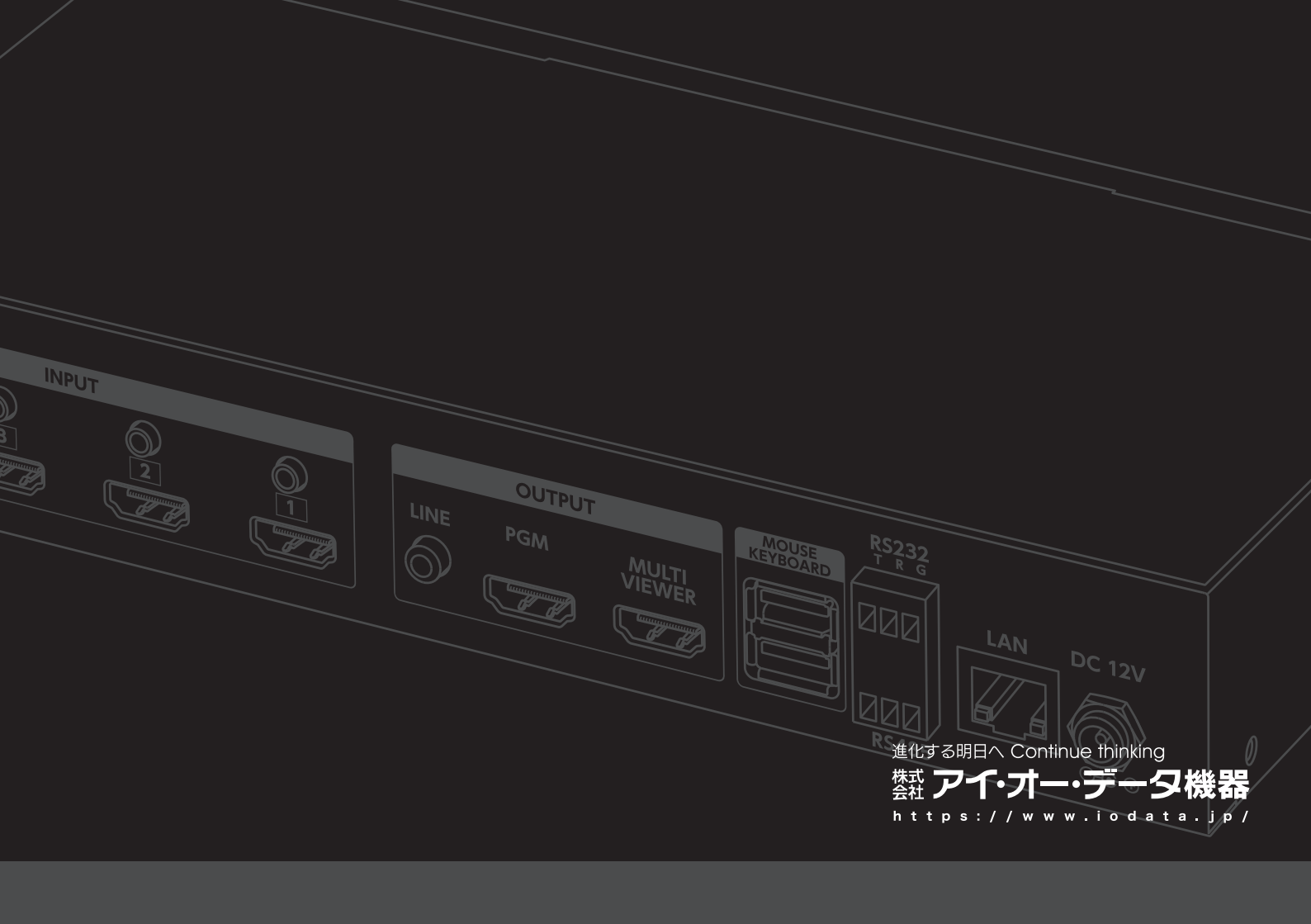
[商標について]

- ・ HDMI、HDMI のロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- ・ 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【商品アンケートはこちら】

よりよい商品作りのためアンケートにご協力願います。





INPUT

OUTPUT

RS232
T R G

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器

<https://www.iodata.jp/>